

令和2年度事業報告書

令和2年1月1日から令和2年12月31日まで

特定非営利活動法人公共の交通ラクダ

1 事業の成果

令和2年度は、コロナ禍で振り回された1年であったが、路面電車駅前乗入れ、県庁通り1車線化などラクダが26年前の設立当時から取り組んできた岡山市の事業は着工するところまできた。吉備線LRT化、路面電車環状化もさらに具体化が進んだ。コロナ禍で市議会の傍聴は減ったが、同時中継の傍聴を行い、市議会議員などとの情報交換にも務めた。毎月の京橋朝市の出前公聴会は五回中断したが、瓦版はほぼ継続し、カラー化してネット印刷に移行し、市民啓発に努めた。

岡山のバス路線を巡る諸問題をきっかけに国も動いて、地域公共交通活性化再生法の改正や独禁法の運用変更が実現した。2月の瓦版では「瀬戸大橋線JR西市駅からバスがあればもっと便利に！」など岡山市の公共交通の組み換え議論を開始し、岡山市パブコメにも提案、また山陽新聞のシンポジウムにも参加して岡山でのネットワークも拡大することが出来た。一昨年の「備讃瀬戸アクセスマップ」の展開として、2月には瀬戸内市の地元の方々と協働して、瀬戸内市長などにもご参加いただいて「瀬戸内交通シンポジウム」を開催、インバウンド消滅の代替ともなるバスで巡る吉備の古墳のコンテンツも提案した。

コロナ禍でかろうじて維持されてきた全国各地の公共交通は危機的状況に陥り、3月20日の富山LRT直通運転開通時に「富山・高岡宣言」の起草を行って危機感の共有を全国に呼びかけた。これを契機に停止していたラクダ定例会を全国ネットワークの仲間にも開放してZoom会議を開始し、4月17日には全国路面電車ネットワーク48団体緊急アピールを発表。JCOMMやくらしの足全国フォーラムと連携して、公共交通危機情報の収集、「交通崩壊の危機」の訴えかけ、国や国会、各自治体への呼びかけ、事業者への励ましなど様々なロビー活動、広報活動を展開した。大都市圏以外の全国の公共交通事業者へ年間2000億円程度の支援が必要との観点に立って活動を展開した。

この間全国Zoom会議は39回開催し、大学教授、国会議員から市民団体学生までのべ594名が参加し、11月20日には全国路面電車NW51団体とコロナ後の提言書を記者会見し岡山市にも提出した。またRACDAホームページをほぼ毎日更新し、全国路面電車ネットワークページを開設、コロナ禍の公共交通事業者影響調査、公的経済支援状況調査などを行って日々更新し、アクセス数は倍増して最大400人がアクセスした。特に全国729自治体が319億円以上もの公共交通支援に乗り出したのが判明した事で、今後の展開にわずかながら貢献できたのではないだろうか。

前年の全国バスマップサミット岡山以後の展開としては、バス情報のオープンデータ化を岡山県にも呼びかけ、秋には自治体を集めた講習会に展開した。若手中心の「デジタルバスマップ合宿」「20代が拓くバスマップ新時代」セッションを継承して、毎週のZoom会議の前半はバスマップ情報交換会とした。後半の全国路面電車ネットワーク会議と比べて平均年齢は半分ほどで、相互の交流はいい刺激になった。また様々なZoom会議は我々交通情報関係ネットワークにとっては大きなインパクトがあり、「RACDA25周年記念・バスマップZoom会議」にも全国37名の参加があった。

毎年の路面電車祭り、鉄道記念日イベントは中止せざるをえなかった。

収益事業である夏期間のビアガー電、秋からのワイン電車はコロナ禍の影響で、特に密な空間を演出する特徴から、2月の日本酒電車の1回実施のみで、以後中止せざるをえなかった。毎年の収益事業として、家賃支払いなどにも充てていたので、会の運営にも重要な影響が出ている。幸い持続化給付金を貰うことが出来たが、コロナ禍の完全な終息以外に解決できない。

会員数は実活動の低下も影響して、80名に留まったが、Zoom会議の活性化は時代の変化を表している。活動全体はむしろコロナを契機に深まり、広がったと言えるのではないか。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出金額 (千円)
公共の交通を充実させるための、公共交通をツールとしたまちづくり、公共交通の拡充・活性化、自転車の有効利用の推進、公共の交通に関する調査、企画、調整、仲介等の諸事業	JR 吉備線 LRT 化推進事業	通年	JR 吉備線沿線を主とする岡山、総社市内	300 名	JR 吉備線沿線住民を主とする岡山・総社市民など不特定多数	0
	路面電車環状化・岡山駅前広場乗入推進事業	通年	岡山市内	50 名	岡山市民、路面電車利用者など不特定多数	0
	吉備線路面電車直通推進事業	通年	岡山市、JR 吉備線沿線	30 名	JR 吉備線沿線住民、岡山市民など不特定多数	0
	バスマップ作成配布事業	通年	岡山市・倉敷市	200 名	岡山・倉敷市民、バス利用者など不特定多数	0
	バス停アダプト事業（バス停留所環境整備）	通年	岡山県全域	2 名	岡山県民全般など不特定多数	0
	バス活性化プラン作成事業	次年度完成を 目途に 通年	RACDA 事務局を中心 に岡山県全 域	400 名	岡山県民全般など不特定多数	75
	市民向け公共交通活性化・交通井戸端会	通年	岡山市を中心 に岡山県全 域	500 名	岡山県民全般など不特定多数	51

	議 「路面電車の日」実施事業	6/8	岡山市内路面電車沿線	0名	岡山市民全般など不特定多数	0
	ワイン電車 (車内でワイン等を提供する路面電車の運行)・ビアガー電 (車内で生ビール等を提供する路面電車の運行)等実施事業	通年	岡山市内路面電車沿線	30名	岡山市民全般など不特定多数	145
	自転車有効利用推進事業 (交通手段としての自転車の活性化、有効利用を推進する事業)	通年	岡山県全域	20名	岡山県民一般など不特定多数	0
	各地路面電車 地方鉄道 存続・電車等 保存運動支援事業	随時	全国の該当地域	594名	該当地域住民など不特定多数	449
地球温暖化防止に関する諸事業	岡山地区移動発生源温暖化ガス減ロードマップ立案作成事業	通年	RACDA 事務局を主に岡山市内	10名	岡山県民全般など不特定多数	0